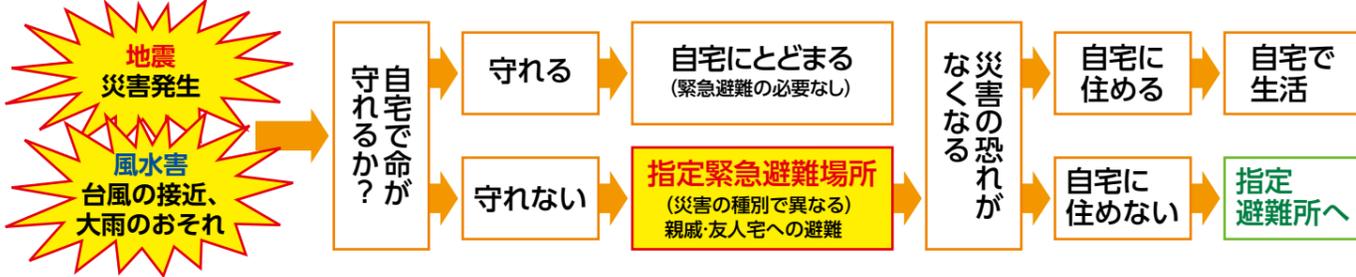


適切な避難行動

日頃から、「ナゴヤ避難ガイド」等で災害に応じた避難場所及び避難経路をチェックしましょう！



安否確認方法

連絡方法 **171** 忘れてイナイ? 災害伝言171と覚えてください。



伝言の録音方法
①71にダイヤルする
ガイダンスが流れます
録音の場合①
ガイダンスが流れます

伝言の再生方法
①71にダイヤルする
ガイダンスが流れます
再生の場合②
ガイダンスが流れます

【災害用伝言ダイヤル171】
【災害用伝言板サービス】
を体験してみよう!!

体験できる日
●毎月1日及び15日
(1月は1日~3日)
●防災週間(8月30日~9月5日)
●防災とボランティア週間
(1月15日~21日)

災害用伝言ダイヤル
災害用伝言板 Web171

南海トラフ巨大地震や風水害から命を守るために!

南海トラフ巨大地震の発生確率と本市の被害想定

- 《発生確率》
- 南海トラフ巨大地震は**30年以内に70%~80%**程度の確率で発生すると想定
- 《名古屋市域の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの場合)》
- 最大震度 **7**
- 津波浸水想定区域 中村区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区、緑区

区分	対策前	対策後
死者数	約6,700人	約1,500人
重傷者数	約3,000人	約1,400人
軽傷者数	約12,000人	約6,900人
地震動による全壊棟数	約34,000棟	約9,900棟

【想定で見込んだ防災対策の内容】

区分	対策
人的被害	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の耐震化 ○全員が発災後すぐに避難開始(昼間5分、夜間10分) ○耐震化による、津波被害を受ける自力脱出困難者の減少 ○家具等の転倒・落下防止対策 ○既存の津波避難ビルの有効活用
建物・経済被害	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の耐震化

備蓄品・非常持出品チェックリスト

いつでも持ち出せるように、普段から準備・点検しておきましょう。

備蓄品 災害に備えて用意しておきたいもの

非常持出品 避難する時に持っていくもの

防災用品

- 給水用のポリ容器・バケツ
- ロープ
- パール
- のこぎり・工具など
- カセットコンロ(予備ボンベ含む)
- ドライシャンプー
- 寝具等
- 毛布
- 寝袋
- キャンプ用テント
- 燃料
- カセットコンロ
- 固形燃料

非常持出品

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット
- 防災ずきん
- 軍手
- 現金(小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など
- 食器類
- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ
- 水筒

医療用品

- 三角せん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ(ティッシュ)
- お薬手帳

照明等

- 懐中電灯(電池含む)
- マッチ、ライター

その他(個人的に必要なもの)

- ミルク(粉・液体)
- 紙おむつ
- 生理用品
- 予備のメガネ・補聴器など
- ペット用品(エサ・水など)

感染症対策用品

- 体温計
- マスク
- アルコール消毒液
- スリッパ
- ゴミ袋

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
- 常備薬(持病の薬を含む)
- 飲料水(ペットボトル)

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。ローリングストックにより食品のロスを防ぐことができます。

7日分用意しましょう 内3日分は非常持出品へ

風水害に対する対策

毎年、日本各地で、台風や大雨による被害が発生しています。名古屋市は、伊勢湾台風をはじめ、平成12年の東海豪雨や平成20年8月末豪雨による被害を受けてきました。いざという時の避難行動等を確認し、日頃から備えましょう。

警戒レベル等	住民がとるべき避難行動等	避難情報	気象情報等(相当情報)
警戒レベル5 災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	河川：氾濫発生情報 大雨特別警報(浸水害) 土砂：大雨特別警報(土砂災害)
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
警戒レベル4 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	河川：氾濫危険情報 土砂：土砂災害警戒情報 高潮：高潮警報・高潮特別警報
警戒レベル3 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	河川：氾濫警戒情報・洪水警報 大雨警報(浸水害) 土砂：大雨警報(土砂災害) 高潮：高潮注意報

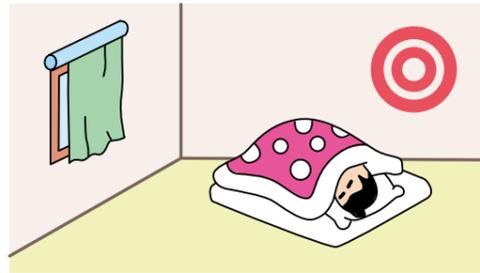
※警戒レベル3相当情報が発表されたとしても、必ず「高齢者等避難」が発令されるわけではありません。 ※避難場所への避難だけでなく、浸水の危険がない上階などで、身の安全を確保することも避難の一つです。 ※気象台の発表する早期注意情報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

地震から命を守る

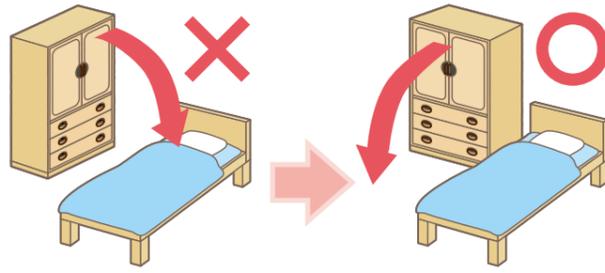
家具等の転倒防止対策

安価、かつ確実に命を守る対策です。

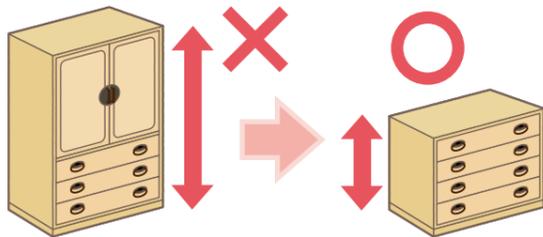
寝室を優先に家具等の配置の見直し、背の低い家具への変更や固定など、転倒防止対策を行いましょう。



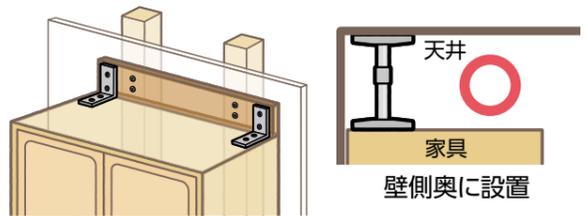
家具を置かないようにしている



就寝場所や、出入口を塞ぐ位置に倒れないような家具のレイアウトにしている



背の高い家具は置かないようにしている



家具の転倒による負傷を防ぐため、家具を固定している
※様々な家具転倒防止器具があります

地震火災対策

火事を起こさない、起きて小さな火のうちに消すことが重要です。

火災を早期発見、消火できるようにするため、住宅用火災警報器や住宅用消火器等を備えましょう。

住宅用火災警報器の
作動確認の方法



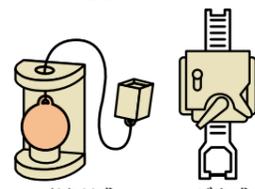
音が鳴れば正常です。

消火器等による消火



ブレーカーの
遮断

あらかじめ感震ブレーカーを設置



おもり式
感震ブレーカーの種類(例)

火の元
確認



揺れがおさまったら!

感震ブレーカー設置の留意事項

感震ブレーカーを設置した場合、機器の作動により人工呼吸器等の医療機器や避難用照明、情報収集用のテレビなどが使用できなくなるおそれがあります。それらの点を踏まえ、住環境に合ったものを設置するようにしましょう。

風水害から命を守る



風水害から命を守る行動

- 風水害から「命を守る」ために、**まず自宅が安全かどうか**を確認しましょう
- **避難先だけでなく、避難するタイミング**も大切です
- イザというとき、自らがとるべき行動を考えましょう(マイ・タイムラインともいいます)

チェックポイント①

一番厳しい想定のご自宅周辺の浸水深は?

メートル

洪水・内水
ハザード
マップ



各区のマッピング面を見てください

チェックポイント②

あなたのご自宅は?
(一軒家/長屋/マンション/アパート等)

階建

(階)

マンション、アパートは、自宅階数も書きましょう

チェックポイント③

チェックポイント①・②を踏まえると、命を守るためにイザというとき、ご自宅から避難する必要はありますか?

逃げる必要なし

在宅避難でOK
(自宅2階への垂直避難も「在宅避難」です)

逃げる必要あり

逃げ時(タイミング)は?
逃げ先(避難先)は?

避難行動が必要な目安

【浸水深】	【お住まいの階】
5.0m以上	3階以下
2.0m以上～5.0m未満	2階以下
0.5m以上～2.0m未満	1階
0.5m未満	

◆逃げ時(避難するタイミング)

避難情報… 高齢者等避難(警戒レベル3)
避難指示(警戒レベル4)

その他 気象情報(2～3時間・24時間雨量予測、土砂災害警戒情報)
参考情報 河川情報(水位情報、指定河川洪水予報) など

警戒レベルも参考に適切な避難行動を!

◆逃げ先(避難先)

親族・友人宅や指定緊急避難場所を確認

逃げ時を逸し、外に出ることが危ない場合は、自宅内の少しでも安全な場所に避難しましょう。(必要ならば119番通報)

チェックポイント④

ご自宅の場所、構造は?

- (1) 土砂災害警戒区域に含まれる
- (2) 堤防の近く、かつ木造住宅

逃げ時・逃げ先は?

- イザというとき、警戒区域外に避難
- イザというとき、安全な建物に避難

安全な建物の例…鉄筋コンクリート造(RC造)

家具転倒防止ボランティア

自力で家具転倒防止をすることが困難な世帯への支援として、「家具転倒防止ボランティア」の派遣を行っています。詳しくは、各区の消防署総務課または区役所総務課までお問い合わせください。

家具ボラ
依頼したい
方はこちら



右のQRコードから避難所の開設状況を確認できます。避難情報によらず、自主避難をする場合には、あらかじめ区役所に連絡をしてください。

災害時!
最寄りの避難所
開設情報

